

2017年3月期 第1四半期 決算概要

2016年8月9日



パンチ工業株式会社

(証券コード:6165 東証第一部)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

第1四半期 決算ハイライト

新・中期経営計画「バリュークリエーション2020」のスタートとなる第1四半期は、中国や欧州が好調に推移したものの、日本国内市場の停滞等により増収減益。

売上	連結	連結売上高は86億円となり、前年同期比でかろうじて増収を確保。
	日本	前年度は堅調に推移していた自動車、電子部品、家電等が軟調となり、前年同期比99%、38億円となった。
	中国	自動車関連が牽引役となり、現地通貨ベースでは前年同期比109%となったものの、円高の影響で、邦貨ベースでは101%、40億円にとどまった。
	その他	欧州、ベトナム等が好調に推移し、前年同期比105%、7億円となった。
利益		売上増加による利益増の効果はあったものの、日本国内工場の稼働低下による原価率の上昇、販管費の増加等もあり、営業利益は前年同期を1.4億円下回る3.3億円となった。同時に、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期を下回った。
ネット資金		配当金支払い等により、期首からは4億円の減少となった。



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

1

□2017年3月期 第1四半期の決算ハイライトです。

□日本は、前年度は堅調だった自動車、電子部品、家電等が軟調で、前年同期比99%、38億円となりました。

□連結に組み込まれる1～3月期の中国は、自動車関連が牽引役となり、現地通貨ベースでは前年同期比109%となったものの、円高・人民元安の影響で、邦貨ベースでは前年同期比101%、40億円にとどまりました。

□東南アジアグループは、欧州やベトナムが好調で、円高によるマイナス要因はあったものの、邦貨ベースでも前年同期比105%、7億円を確保しました。

□連結売上高は、前年同期比で100.8%の増収をかろうじて確保することができましたが、営業利益以下は、国内工場の稼働低下による原価率の上昇、販管費増加等により減益となりました。

□ネット資金は、配当金の支払い等もあり、期首から4億円の減少となりました。

決算概況

(単位:百万円)

	2016年3月期 第1四半期		2017年3月期 第1四半期		前年同期差	前年同期比
売上高	8,591		8,658		66	100.8%
営業利益	5.6%	477	3.8%	331	▲146	69.3%
経常利益	5.1%	438	3.8%	330	▲108	75.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3.9%	335	2.4%	207	▲127	61.9%



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

2

□決算数値の概要です。

□売上高は86億円で、前年同期比100.8%、6千万円の増収となりました。

営業利益は3.3億円、前年同期比1.4億円の減益、

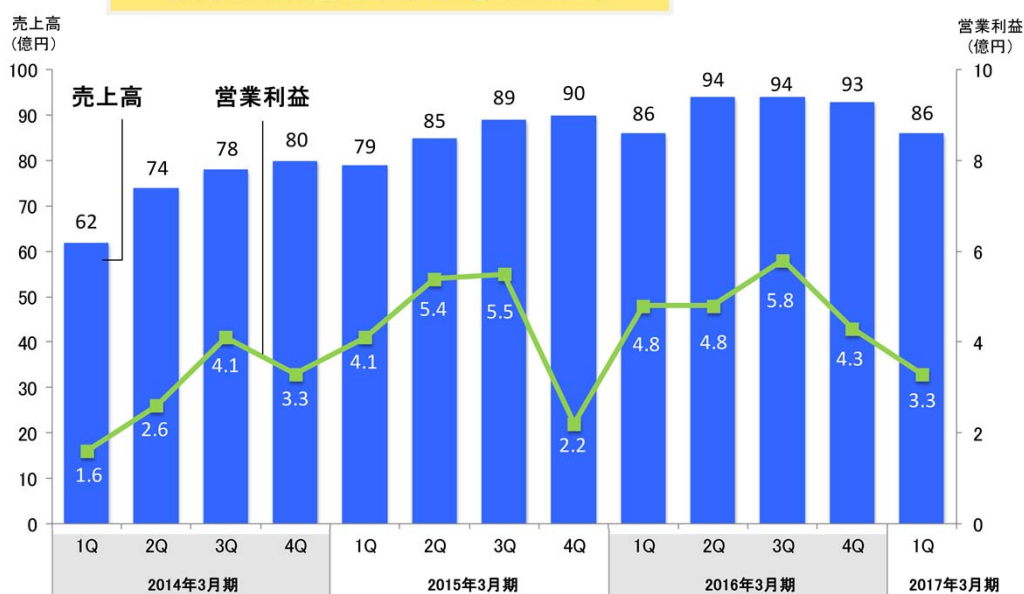
経常利益は3.3億円、前年同期比1億円の減益、

親会社株主に帰属する四半期純利益は2億円、

前年同期比1.2億円の減益となりました。

売上高と営業利益の推移

海外売上が連結売上高の増収に寄与。



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

3

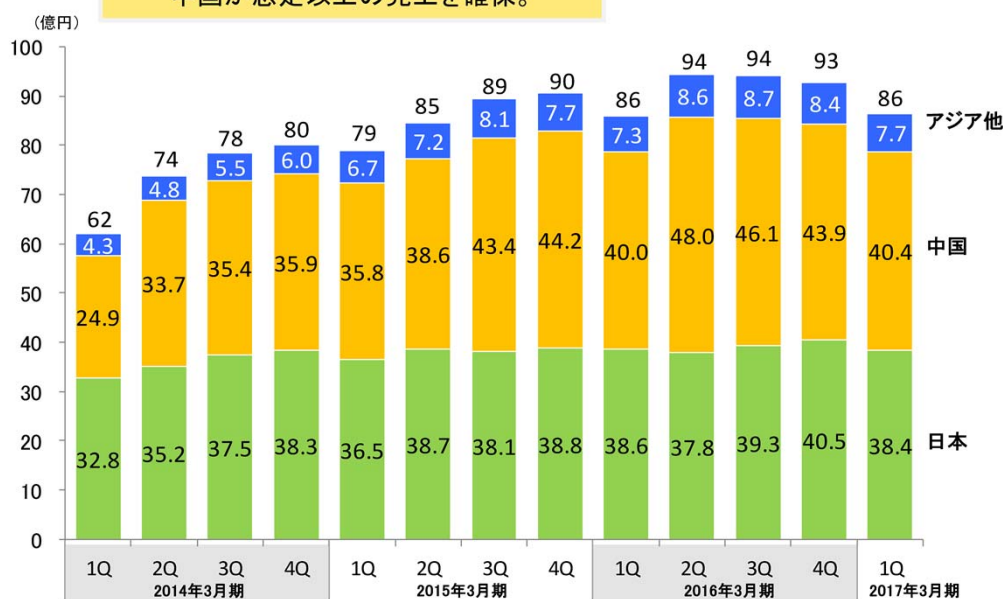
□四半期ベースの売上高と営業利益の推移です。

□例年、第1四半期は中国の春節休暇の影響により売上が減少しますが、
当第1四半期においては、春節休暇の影響は限定的であり、現地通貨ベースでは大幅な増収となったものの、円高・人民元安の影響により、邦貨ベースでは減少、日本国内市場の停滞もあり、前年に対して微増にとどまりました。

□営業利益については、販管費の増加等により減益となりました。

地域別売上高

中国が想定以上の売上を確保。



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

4

□地域別の売上高です。

□日本は、個人消費の伸び悩みや、企業の設備投資需要減少により、前年同期比でほぼ横ばいとなりました。

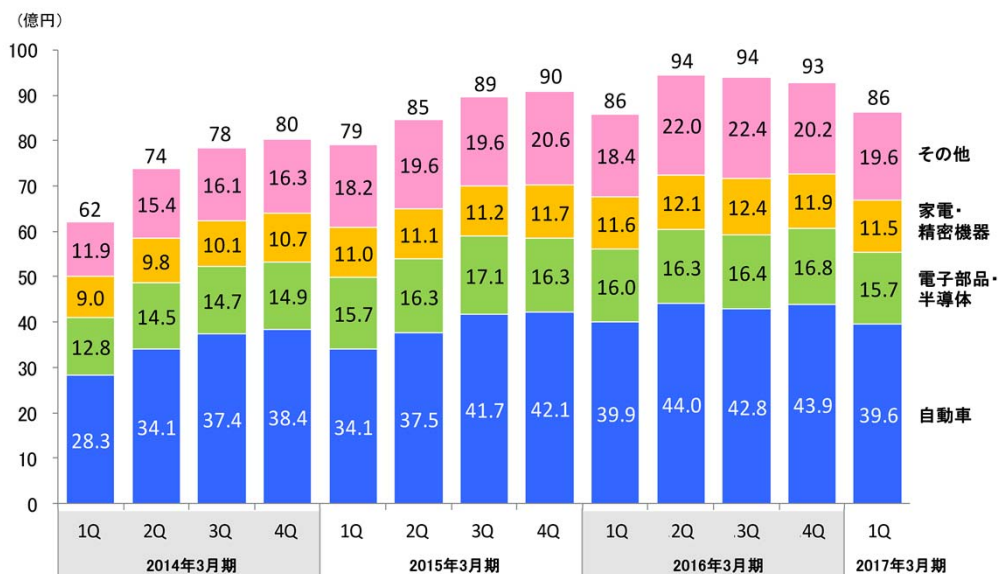
□中国は、自動車を中心に市場全体が活性化しております。

□「アジア他」は、東南アジア全体の景気には一服感が見られるものの、当社が販売拠点を置いているベトナムは好調を維持しています。また、マレーシアから欧州向けの販路も前年に対して大きく伸長しました。

□欧州向けが伸びている背景には、今年度より、欧米・アジアからの受注に対し、最適な生産拠点から調達する機能を持った「グローバルソーシング」部門を設置したことによる効果が表れていると見ています。

業種別売上高

精密機器が堅調に推移。

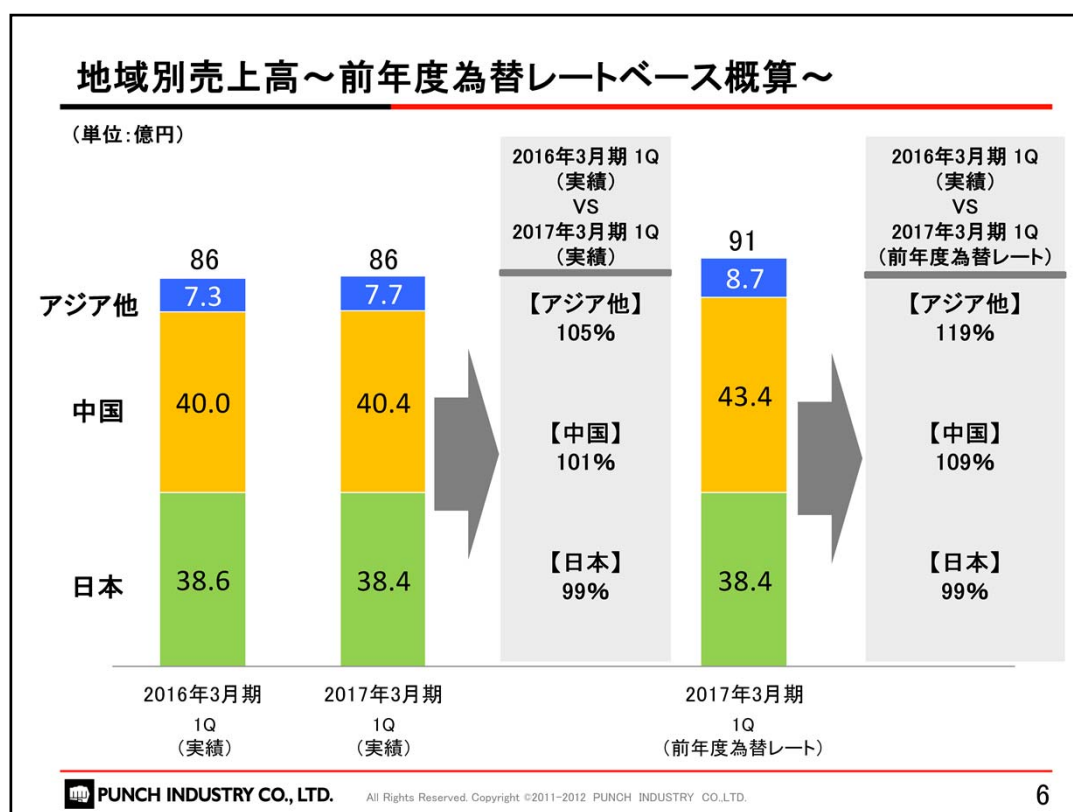


□業種別売上高のグラフです。

□日本国内の自動車関連は、前年度は堅調だったものの、第1四半期においてはやや軟調なスタートとなっています。国内景気は不透明感が強いいため、特注品の受注を強化するなど、外部環境要因に依存しない取組みを進めています。

□一方で、中国では自動車が好調に推移しています。

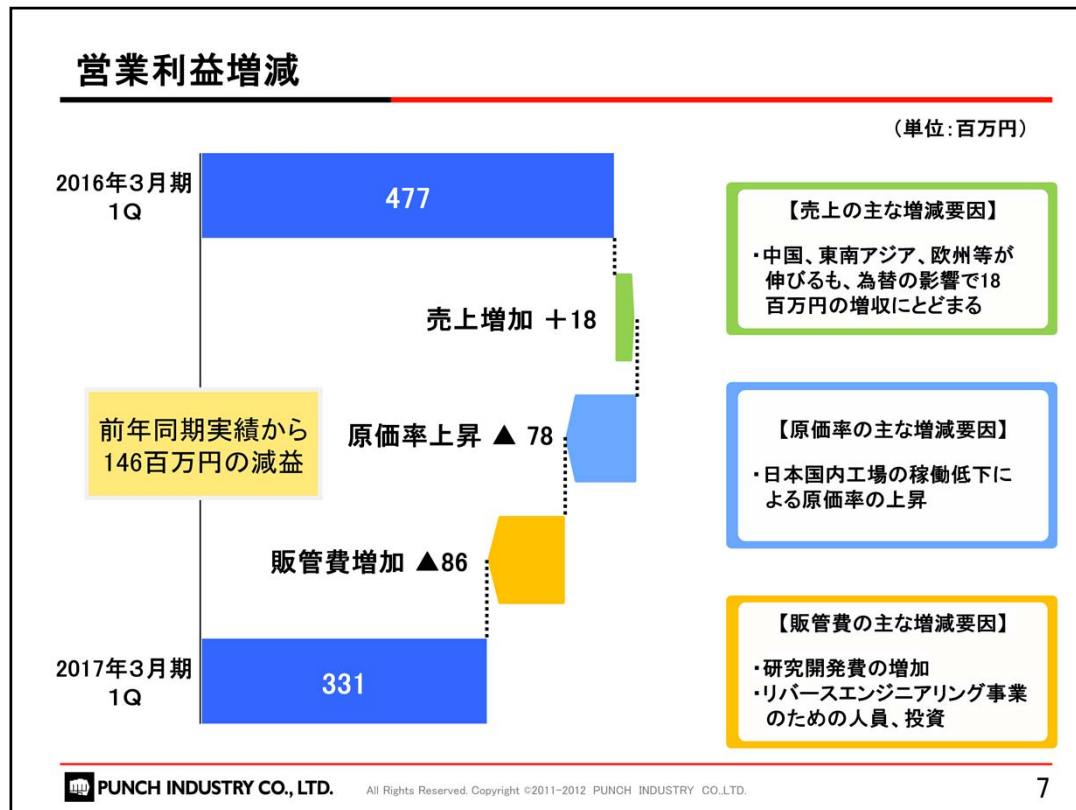
□「その他」の中でも、高付加価値製品として当社が注力している医療関連は堅調でした。



□当第1四半期の地域別売上高を前年度為替レートベースに置き換えたグラフです。

□中国やアジア他の地域は、現地通貨ベースの売上は伸びていますが、円高の影響で、当第1四半期は邦貨ベースではあまり伸びていません。

□前年度の為替レートベースに置き換えると、中国は109%、アジア他は119%の伸びとなり、全体の売上高は5億円ほど増加していたことになります。



□ 営業利益の増減グラフです。

□ 前年同期実績の4.7億円から、売上高の増加により18百万円の利益増。

□ 日本国内工場の稼働低下による原価率の上昇で78百万円の利益減。

□ 研究開発費の増加、リバースエンジニアリング事業開始に当って人員や新規設備投資を行ったことなどによる販管費の増加により86百万円の利益減。

□ 当期実績は3.3億円となり、前年同期比146百万円の減益となりました。

財務状況

(単位:百万円)

	2016年3月期末	2017年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	27,337	27,584	246
総負債	13,338	14,064	726
うち有利子負債	5,429	5,631	201
純資産	13,999	13,519	▲479
ネット資金	▲2,108	▲2,553	▲444
自己資本比率	51.2%	49.0%	▲2.2pt

	2016年3月期 第1四半期	2017年3月期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	193	395	201
減価償却費(無形固定資産含む)	343	331	▲11

□財務状況です。

□総資産は、有形固定資産の増加等により、2.4億円の増加となりました。

□総負債は、仕入債務の増加等により、7.2億円の増加となりました。

□純資産は、為替換算調整勘定の減少により、4.7億円の減少となりました。

□自己資本比率は49%、設備投資は3.9億円となりました。

2017年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2016年3月期 (実績)		2017年3月期 (予想)		前年差	前年比
売上高	36,755		37,000		244	100.7%
営業利益	5.4%	1,986	5.4%	2,000	13	100.7%
経常利益	4.5%	1,666	5.2%	1,935	268	116.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3.4%	1,249	3.8%	1,400	150	112.1%
自己資本利益率 (ROE)	8.9%		9.6%		0.7pt	
2017年3月期 配当予想	中間 13円 + 期末 13円 = 26円					

□2017年3月期 業績及び配当予想です。

□国内景気は引き続き不透明感があるものの、既に終了した中国の第2四半期の状況等も踏まえ、この第1四半期、第2四半期でしっかりと見極めていきたい、という考えから、業績予想は据え置きました。

□当社としては、外部環境にも注視しつつ、新・中期経営計画「バリュークリエーション2020」の取組みを一步一步着実に進めています。

□日本、中国では、特注品の受注を強化する取組みを進めています。

□東南アジアでは、ベトナム工場の稼働開始に向けた準備が順調に進んでおり、10月には稼働できる見通しです。

□まずは今年度の通期業績の確保を目指し、第2四半期も引き続き、パンチグループ全社員一丸となって取組みます。

■各資料につきましては、弊社Webサイトよりご覧ください。

◆決算短信

<http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

◆決算説明資料

<http://www.punch.co.jp/ir/library/setsume.html>

◆IRニュース一覧

<http://www.punch.co.jp/ir/2016/>

参考資料

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	3,836名(グループ連結、2016年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弾簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア)

※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中であります。

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

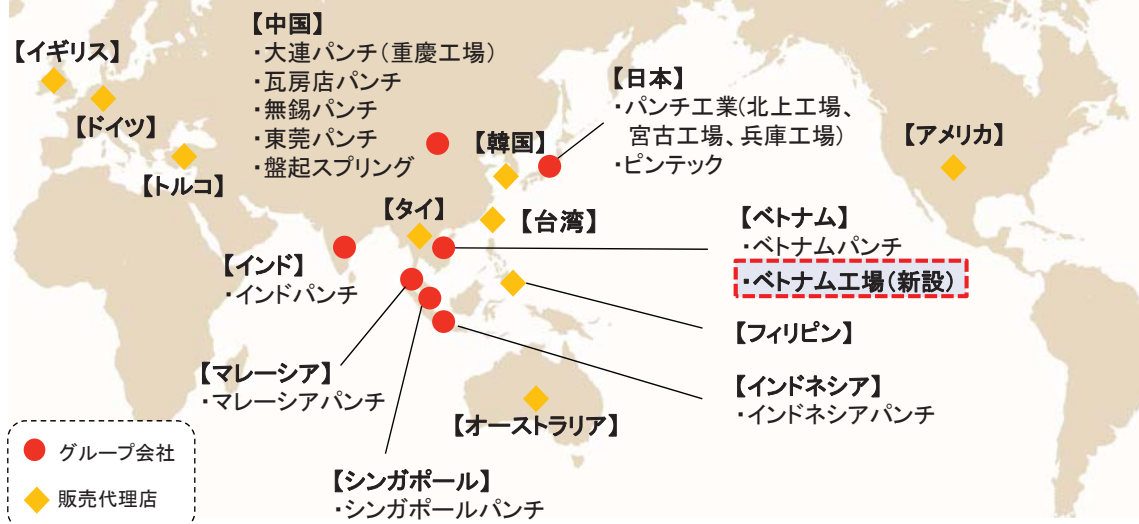
パンチグループのネットワーク

生産拠点数

日本	海外
4	8
カ所	カ所

販売拠点数

日本	海外
14	38
カ所	カ所

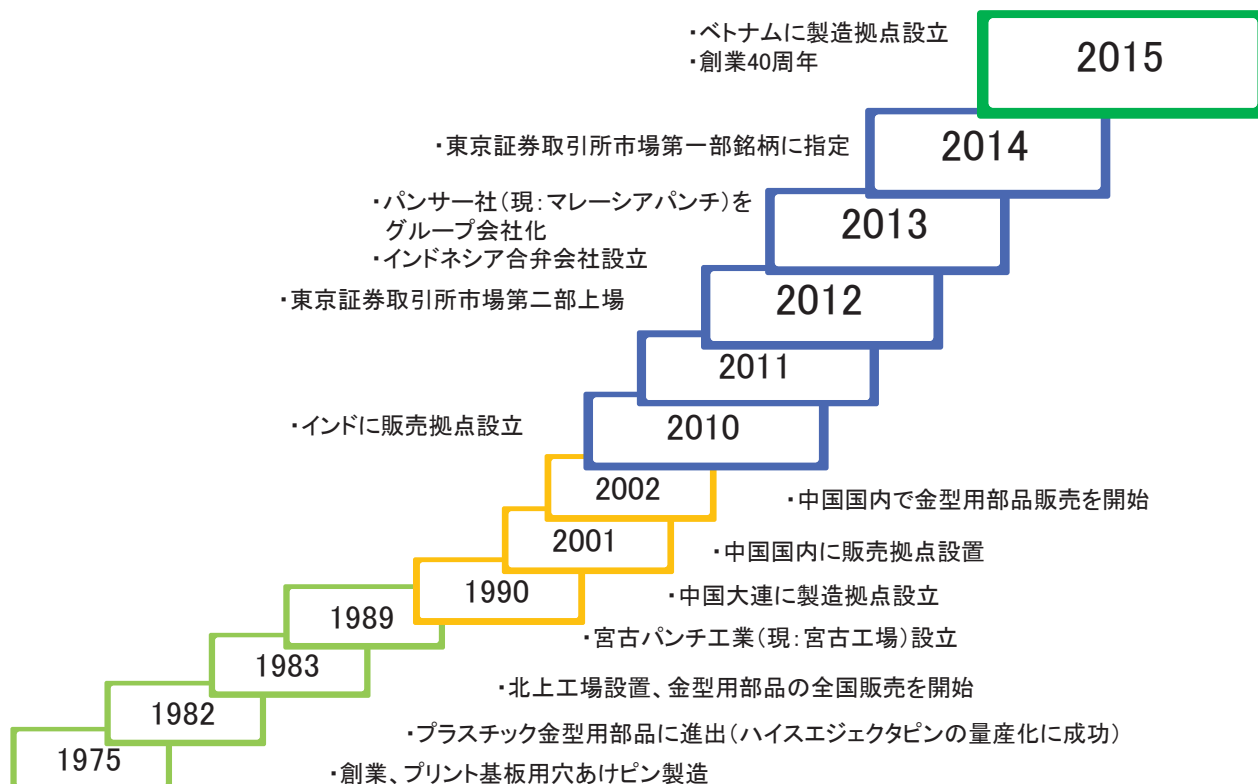


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

12

沿革



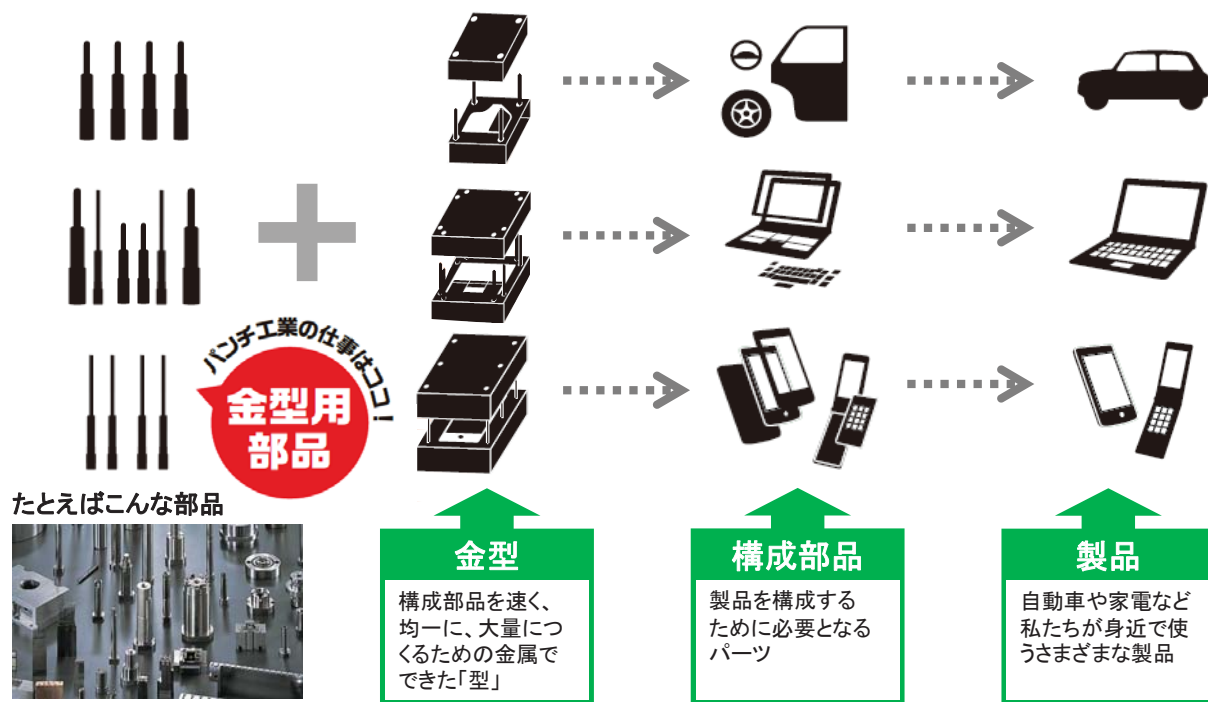
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

13

事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売

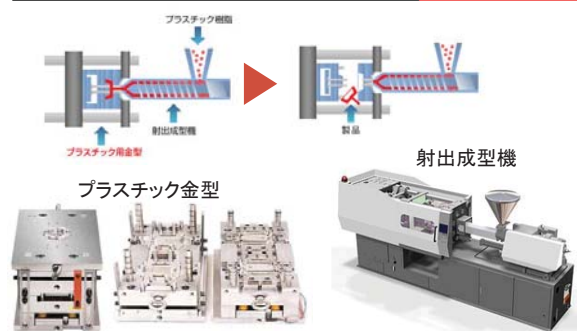


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

14

プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブッシュ・ロケットリング

●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブッシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン... 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブッシュ... 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

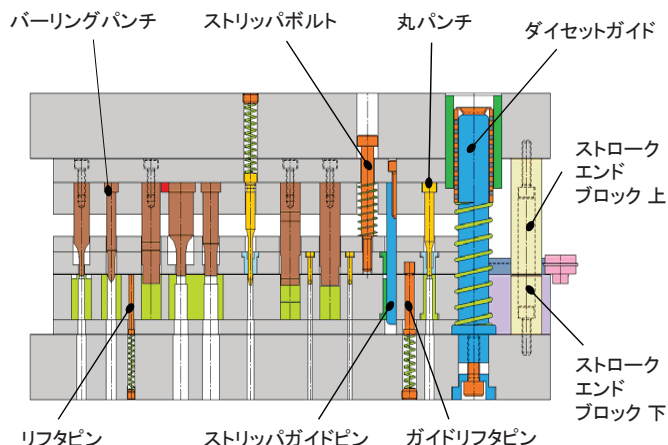


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

15

プレス金型と金型用部品



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

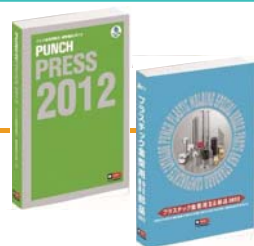
当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

パンチ…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品

ダイセットガイド… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



カタログ品

汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップ

スピーディなソリューション

特注品

カスタムニーズにも柔軟に対応



一気通貫の生産体制

1,800台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

企業ビジョン



世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す

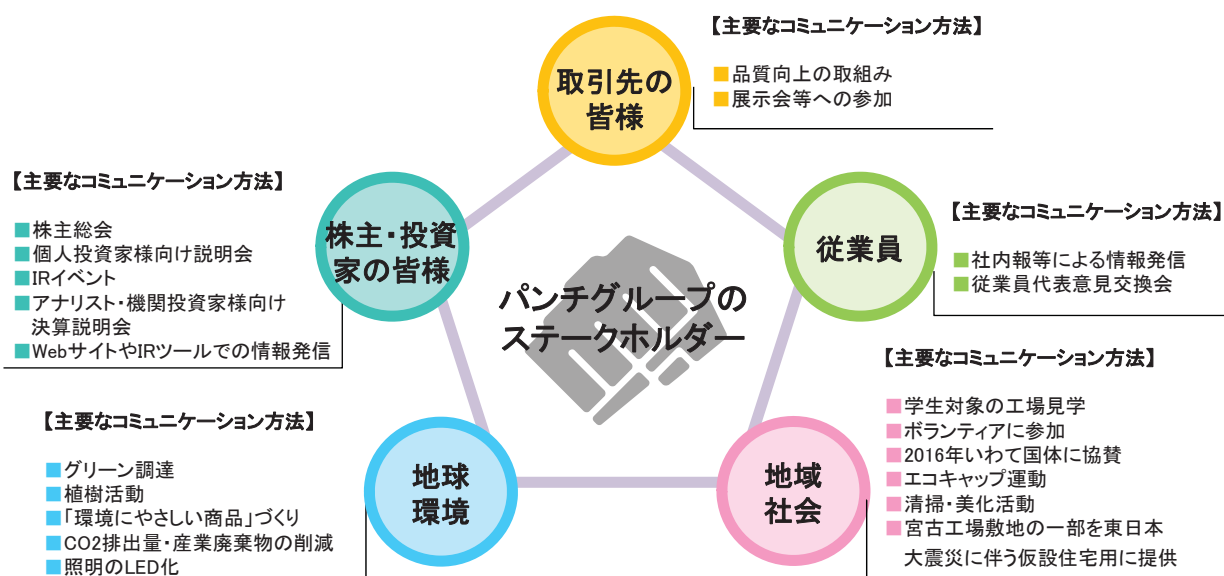


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

18

ステークホルダーとのコミュニケーション



個人投資家様向け会社説明会の様子



植樹活動の様子



エコキャップ運動



【いわて北上マラソン】
マラソンボランティアの様子



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

19

本日は、誠にありがとうございました。



パンチ工業は“世界のものづくり”を支えています
PUNCH INDUSTRY IS THE VITAL CORE BEHIND PRODUCTION AND CRAFTSMANSHIP WORLDWIDE.

【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。